

豊島岡女子学園高等学校の先生方へ



文学部 人文社会学科 心理学専攻 3年
上野 優香
 (私立豊島岡女子学園高等学校 2013年3月卒業)

拝啓

みなさま、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

5年前、期待と緊張を胸に私は豊島岡女子学園高校に入学しました。毎朝の運針、入間での運動会、友達と過ごすお昼休みなど、3年間はあっという間に過ぎてしまったものの、今でもその時のことを鮮明に思い出すことができます。中でも先生方のユニークな授業は今の私を作る土台となっております。先生方は授業から展開して、自身の体験や興味深いお話をたくさんしてくださいましたね。

私が豊島岡での高校生活で学んだ最大のものは、考える姿勢だと思っています。豊島岡では先生はもちろんのこと生徒も物事に対し自分の考えを持っています。豊島岡に入っていないければ私は今ほど考えるということができなかったでしょう。考えることが本当に楽しいです。昔は新しい情報や知識を受け入れるしかなかったけれど、今では自分の考えと比較し戦わせられるようになりました。私は中央大学の文学部で学んでいます。この学部では自分の専攻の心理学に加え、様々な分野の授業を受けることができます。私は哲学や国際法、地理学などの授業を受けあらゆる視点から世の中を考える



大切さに気付きました。今後は臨床心理学を中心として研究をすることとなりますが、常に広い視野を持ち、学んでいこうと思います。

また学業の他に、私は大学で応援団チアリーディング部に所属し活動をしています。野球部やアメリカンフットボール部などの応援活動の他に、競技チアリーディングの大会に向けた練習もしています。競技チアリーディングは、最も協調性を必要とするスポーツと言っても過言ではないと思います。どう思っていることを伝えようか、どうしたらもっと一体感のある演技になるだろうか、日々悩むこともあります。それを含め全員で努力していくところがこのスポーツの魅力だと感じています。豊島岡の体操部での3年間のことも思い出します。あのときだったらどうしただろう。中高生のまだ無邪気さの残る頃に比べ上手くいくこともいかないこともあるのだなど違いを感じたりもします。

先日学校を訪れた際、豊島岡生のころのように職員室前で先生方と楽しくお話をさせていただきました。わからないところを質問に行ったり、大学で心理学を学ぶきっかけを与えていただいたり、くだらない話で盛り上がった。大切な場所であったなど懐かしく思いました。ひとまわり成長してまたお話をしに行きたいです。大学生活も、もう3年目となりました。4年間のうちにやりたいことはたくさんあります。何をするか、もしくは何も行動に起こさないまま終わるかは本当に自分次第であると感じています。豊島岡の運針で学んだ、基礎の大切さ、積み重ねる努力を惜しまず行動していきます。そして豊島岡の卒業生ですと自信を持って言える、思いやりを持った女性になれるよう、日々の生活を送っていきたくと思います。豊島岡女子学園高等学校の更なるご発展をお祈り申し上げます。

敬具